

平成29年度 学校版環境ISOへの取組 概要報告

甲佐町立甲佐中学校

1. 甲佐中学校版環境ISO宣言

甲佐中では、平成16年度から学校版環境ISOの取り組みを始め、今年で14年目になります。今年も昨年同様、ISOに対する意識を高め、「できることからはじめよう」をモットーに、「節電」「節水」「ゴミの減量化」の3つに取り組んできました。

組織としては、生徒会専門委員会である環境美化委員会をISO推進委員会として位置づけ、平成29年度の宣言項目を次のように決めました。

1 私たちは**節電**をします。

- ・移動教室のときや放課後は教室や廊下の電気を消す。

2 私たちは**節水**をします。

- ・雑巾はバケツで洗う。
- ・歯みがきのときに水を止める。

3 私たちは**ゴミの減量化**をします。

- ・紙類のゴミを出さないようにする。



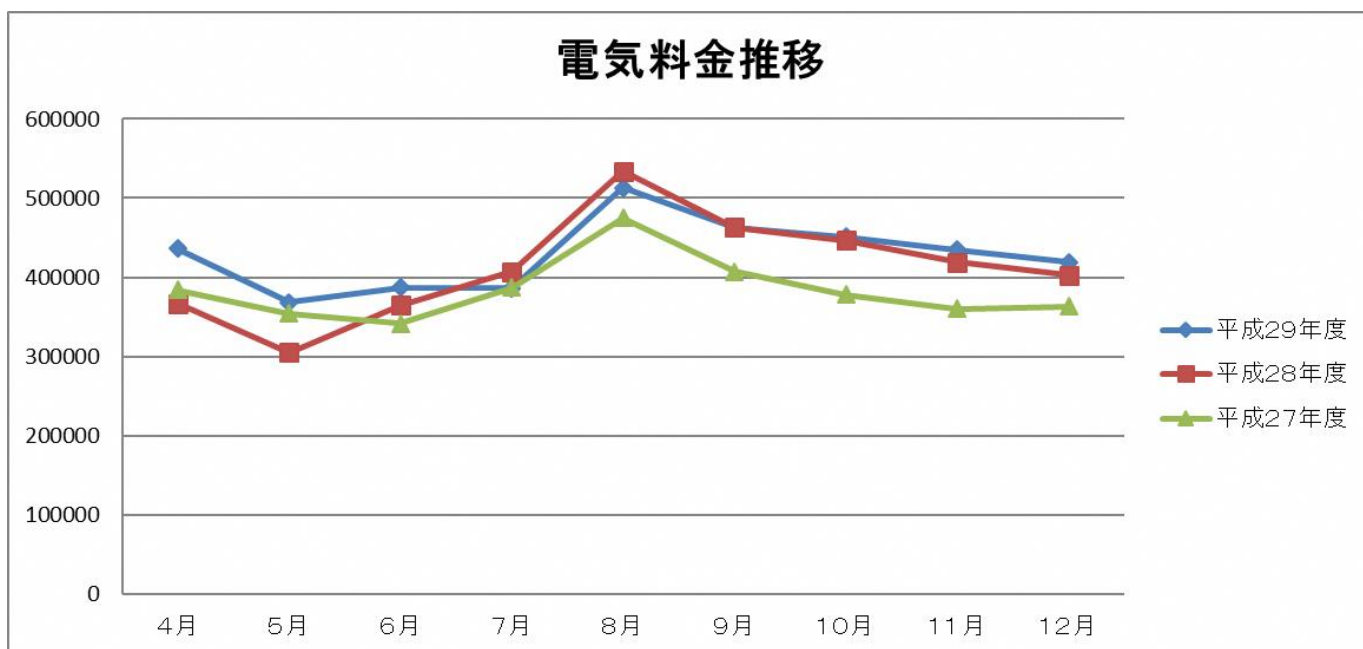
生徒集会で環境美化委員長が宣言項目を発表しました。

昨年度に引き続き、各宣言項目において重点事項を設定し、して取り組みました。これらの宣言項目と重点事項は、スイッチや水道、ゴミ箱にもそれぞれ掲示し、日頃から意識が高まるようにしました。

2. 行動の内容及び記録

(1) 「節電」の取組

節電については、「移動教室の時や放課後に教室や廊下の電気を消す。」を重点事項としました。昨年度も同様の取組ですが、さらに生徒一人一人の意識を高め、お互いに声を掛け合えることを目指しました。また重点事項に加え、エアコンの設定温度や使用頻度など、使用料を抑えることを生徒一人一人が心がけ、学校全体で取り組んでいます。

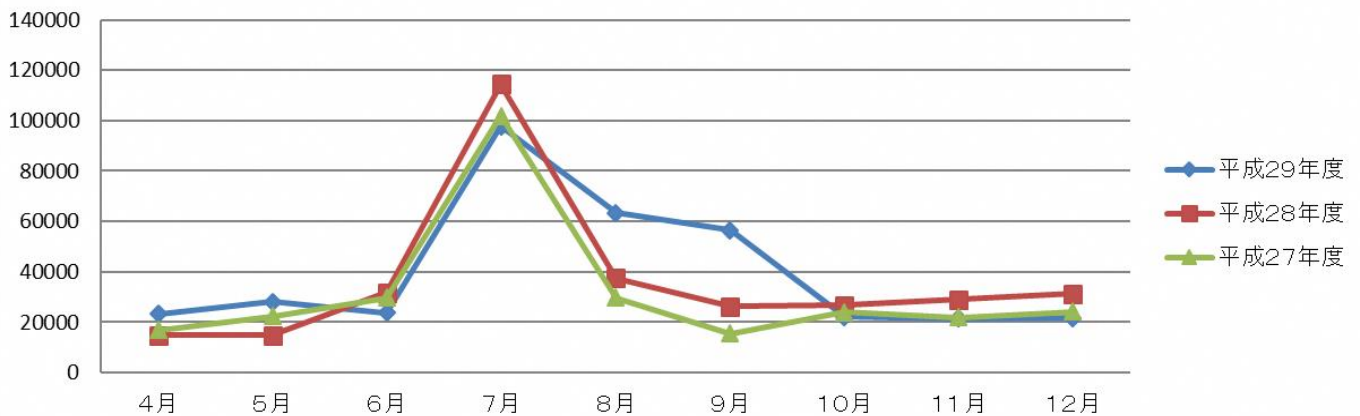


(2) 「節水」の取組

節水については、「雑巾はバケツで洗う。歯みがきのときに水を止める。」を重点事項としました。清掃時や給食後の歯みがきで余分な水を出さないようにし、水の使用量の減少を目指して取り組みました。歯みがきでのコップの使用は、昨年引き続き実践することができました。さらに、昨年度課題であったバケツの使用についても、環境美化委員会で重点的に呼びかけを行いました。今後もさらに水を大切にすることを高めていきたいと思ひます。



水道料金推移



(3) 「ゴミ減量化」の取組

ゴミの減量化については、「紙類のゴミを出さないようにする。」を重点事項としました。毎週水曜日と金曜日のゴミ収集では、各教室からのゴミをすべて計量して記録しています。一ヶ月のゴミが増えてきたときには、クラスで呼びかけを行いゴミを減らす意識を高めました。少しずつですがプリントやノートなどの紙類のゴミが少なくなってきました。



ゴミ量の推移



(4) 学校外での取組

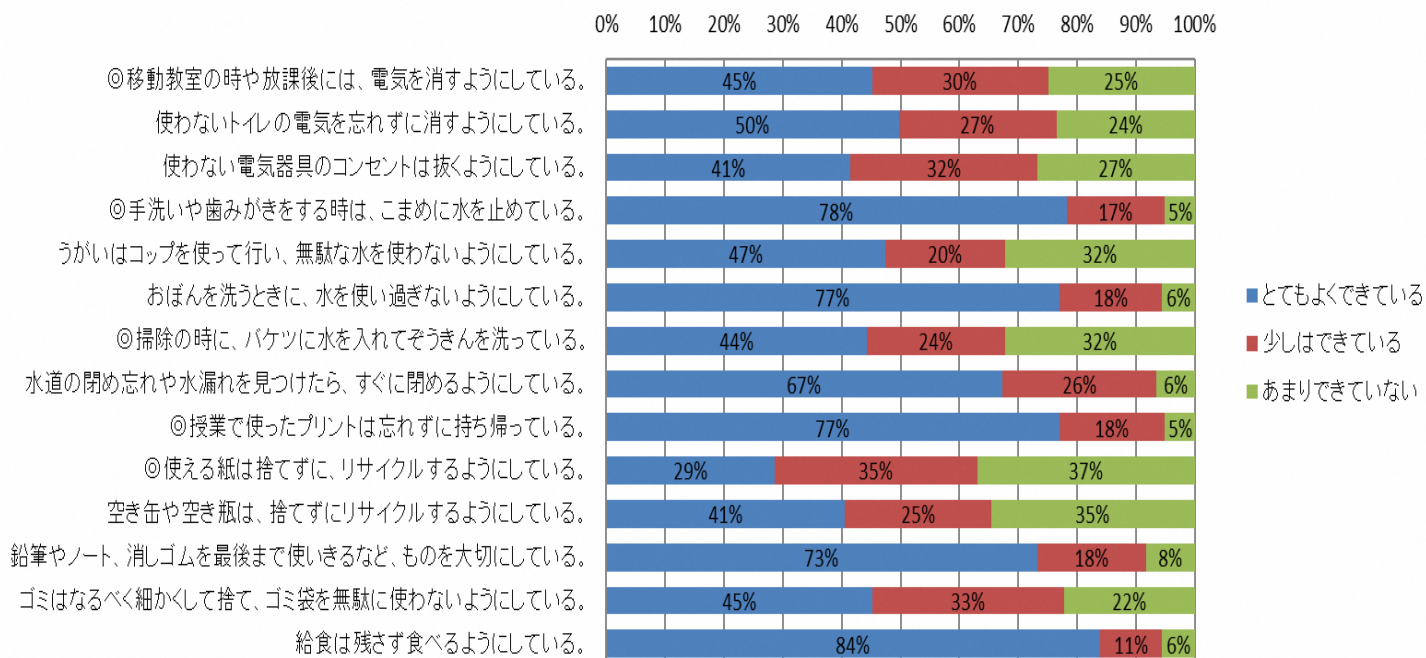
校外での活動として、甲佐町で年に2回、4月と9月に行われる「緑川一斉清掃」に参加をしています。部活動生や有志の生徒が集まり、校区を流れる緑川の河川敷のゴミ拾いを行います。自分たちの町を自分たちできれいにしていくことで、ゴミのポイ捨てや不法投棄に対する意識が高まります。



3. 見直し(成果と課題)

12月に全校生徒に対し環境ISOについてのアンケートを行いました。全体的に肯定的な意見が多く、生徒の意識も高まってきていると言えます。

学校版環境ISOアンケート 生徒全体集計結果



(1) 「節電」について

〈成果〉

- 「電気を消すよう意識している」と解答している生徒が割合は高く、意識している生徒が多い。

〈課題〉

- 授業日数が昨年よりも多いため、電気使用料が昨年と比べ5%増加している。
- 7月以降はエアコンの使用頻度が増え、使用料が高くなるので、エアコンの設定温度を考える必要がある。

(2) 「節水」について

〈成果〉

- 「掃除のときにバケツでぞうきんを洗う」と解答した生徒が7割に増加した。
- 「手洗いや歯みがきのときにこまめに水を止めている」と解答している生徒も9割を越え、水を大切にしようという意識は高まっている。

〈課題〉

○水泳の授業が1学期に続いて2学期も何度か行われたため、全体では水道使用料が昨年と比べ10%増加している。

○さらにバケツの使用が定着するよう、呼びかけなどを行っていく必要がある。

(3) 「ゴミの減量化」について

〈成果〉

○全体としては昨年よりもゴミの量が5%増加しているが、4月以降はゴミの量が昨年よりも減少している。

○プリントの持ち帰りについて生徒の9割以上ができておりと解答しており、意識を高く持っている。

〈課題〉

○教師が授業で配布するプリントの量について見直す必要がある。

(4) 学校外での取組について

〈成果〉

○活動後の生徒の感想から、参加生徒の環境への意識の高まりが見られる。

〈課題〉

○有志での参加生徒が増えるよう、呼びかけ等の対策をいく。

(5) その他のアンケート項目について

〈成果〉

○すべての項目で、生徒の6割以上ができておりと解答しており、取組の効果が現れてきていると言える。

〈課題〉

○空き缶や空き瓶のリサイクルなど家庭での環境に対する意識に課題がある。学校での環境ISOの取組を、家庭での取組につなげていく必要がある。

○電気や水道の使用料やゴミの量の推移を表したグラフなど、掲示物を充実させてさらに意識を高めていく。